

※設計に際しては、設計図書その他「縦の木荘に関するコンセプト」の考え方を十分理解し、これを実現できるよう工夫すること。

## 1. 既存縦の木荘宿泊棟

### 1.1. 耐震補強

- ・耐震診断結果に基づき、必要な強度を確保する
- ・宿泊施設であることを十分考慮して、内外装の見栄えに留意すること

### 1.2. ユニバーサルデザインによる全館バリアフリー化

- ・高齢者、外国人来訪者などに配慮
- ・宴会場の音漏れ等による客室への影響を考慮
- ・階段の傾斜角、蹴上、踏面などに配慮…構造を確認し付替え等を検討
- ・客室ドアが容易に開閉できるよう確認

### 1.3. 屋根葺き替え

- ・維持管理に配慮して、耐久性のあるもの
- ・雪及び落ち葉等が堆積しない設え

### 1.4. 給排水設備の入替

- ・構造及び維持管理方法を検討し、客室への洗面設置の可能性を検討

### 1.5. 厨房の改修

- ・保健所の指導による改修及び設備入替
- ・換気設備の改修

### 1.6. 換気及び空調(冷暖房)設備の設置

- ・宴会場、客室、レストラン、2階廊下部など外気の入取れなどで快適性を確保
- ・温泉排熱利用を検討(補助金等の利用も合わせて検討)

### 1.7. 新館への渡り廊下設置

- ・中庭等の設えと一体的に検討
- ・冬場でも快適に利用できるよう室内空間とする

### 1.8. 玄関周り、ホール改修

- ・大型バスの寄付き、回転を考慮
- ・機能的で魅力的な売店空間の設置(規模は極力現状を維持する)

### 1.9. ゲームコーナーを洗濯室に改修

- ・宿泊客が利用する洗濯乾燥機を2基程度設置予定

#### 1.10. 2階ベランダ下 アスベストの撤去

---

#### 1.11. 2階男子便所の小便器取替

- ・自動洗浄式に取替
- 

#### 1.12. 災害対応設備

- ・自家発電設備設置場所の新設…緊急時にシャワー及び暖房活用程度
- ・外構部に災害時に利用するマンホールを設置

## 2. 合宿棟、新館

### 2.1. 既存合宿棟の解体・撤去

- ・ボイラー室のアスベスト撤去
- 

### 2.2. 客室棟新築

- ・8室
  - ・定員4名（通常時は2名利用）
  - ・ツインベッド+4畳程度のフリースペース
  - ・洋式トイレ1基
  - ・洗面1基
  - ・車いす利用を考慮すること
- 

### 2.3. 家族風呂、多目的トイレ

- ・インバウンド、障がい者利用も考慮

## 3. 多目的スペース

### 3.1. 既存樞の木荘東側に多目的スペースを新設

- ・100㎡程度
- ・薪ストーブ又は暖炉を設置
- ・給排水設備
- ・土足での利用
- ・住民、宿泊客双方が気軽に利用できる空間
- ・ゆったりとくつろげる工夫
- ・開放的で温かみのある設え
- ・星空を堪能できる工夫(展望楼など、新館での対応も可)
- ・宿泊客が宴会や食後にゆっくりとくつろげる空間づくり

## 4. 外構、その他

### 4.1. 外構部

- ・池の撤去…ただし彫刻は現状のまま保存し、その周囲の設えに留意
- ・もみの湯との連携を考慮し、外構に散歩道などの動線を工夫

---

### 4.2. その他

- ・名称の変更等について今後検討する
- ・施設北側の森林等を整備し、散策コースなどの設置を今後検討